

2017年11月～12月のJ-stageアクセスランキング上位20位の論文情報

(対象論文：44巻1号～52巻6号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料が対象)

順位	アクセス数	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	96	総説	大気汚染の健康影響に関する疫学研究—自動車排出ガスと微小粒子状物質(PM2.5)を中心に—	島 正之	50	67
2	69	技術調査報告	自動車搭載型装置を用いたMAX-DOAS法による分光観測—福岡都市圏の二酸化窒素 (NO ₂) の時空間不均質性—	山口 秀芳	51	238
3	65	原著論文	野焼き発生の時間分布調査および稲作残渣野焼きによる大気汚染物質排出量の日変動推計	富山 一	52	105
4	60	原著論文	九州北部における春季の高濃度PM2.5と長距離輸送	兼保 直樹	45	227
5	59	ノート	屋久島および霧島における無機イオン成分の針葉への乾性沈着	三宅 隆之	48	92
6	43	総説	PM2.5の実態解明に向けて	伏見 暁洋	46	84
7	41	技術調査報告	低オレフィンガソリン燃料を用いた給油時と終日車両保管時に排出される揮発性有機化合物とオゾン生成能を考慮した大気質評価	萩野 浩之	50	266
8	39	原著論文	日本における自動車由来大気汚染物質排出の30年史	神成 陽容	48	20
9	37	原著論文	地熱発電所から排出される硫化水素の大気拡散予測のための数値モデル開発	小野 浩己	52	19
10	35	総説	微小粒子状物質 (PM2.5) の測定	坂本 和彦	46	61
11	34	ノート	PM2.5高濃度イベント時のエアロゾル粒子中有機トレーサー成分— β 線自動測定機のテーブ紙を用いた高時間分解能解析—	池盛 文数	52	118
12	33	原著論文	優先取組物質の見直しに対応した大気中クロム分析法の開発	奥田 知明	48	268
12	33	原著論文	長距離輸送された多環芳香族炭化水素とn-アルカン	小川 佳美	47	18
14	32	原著論文	関東地方における夏季地表オゾン濃度のNO _x 、VOC排出量に対する感度の地理分布	井上 和也	45	183
15	31	技術調査報告	レセプターモデルを用いた熊本県におけるPM2.5発生源寄与の推定—離島との比較による越境/地域汚染の影響の解析—	豊永 悟史	52	150
15	31	原著論文	誘導体化-加熱脱着 GC/MS 法によるPM2.5中の極性及び非極性有機成分の簡易迅速分析	上野 広行	47	241
17	29	総説	大気中微小粒子状物質の長期曝露が死亡に及ぼす影響—疫学研究における曝露と健康影響の評価に関する系統的レビューとメタ解析—	上田 佳代	51	245
17	29	技術調査報告	2011年度の連続測定結果に基づく全国的なPM2.5汚染の状況解析	板野 泰之	48	154
19	28	原著論文	2010年度を対象としたトレーサー法によるわが国の微小粒子状物質 (PM2.5) の発生源寄与評価	板橋 秀一	51	197
19	28	総説	PM2.5の疫学と健康影響：日本人のリスク評価の視点から	武林 亨	46	70

(同一IPアドレスからの複数アクセスは1回とカウントしています。巡回ロボットによるアクセスは除外しています。)